

新千歳空港について

1. 除雪体制のさらなる強化について

① 滑走路・誘導路の降雪等への対応

冬期における除雪能力は年々向上しているものの、昨今は湿った雪質の影響もあり、大規模なイレギュラーが発生している。引き続き、除雪能力の向上、ならびにイレギュラー時のお客様への影響を最小限にするためにも除雪終了時間の精度向上に向けた取り組みを実施し、全般的な除雪精度の向上に努めることを要請する。

② 航空機および車両走行の安全性強化に向けた、特にスリップしやすいエリアの改修もしくは適切な除雪の実施について

冬期において、旅客や貨物搬送で頻繁に使用するC-GSE通路や0～3番スポット前におけるターミナルGSE通路を中心に、路面凍結のため車両がスリップし、搬送遅れなどが発生している。また、C-GSEエリアの勾配と凍結により、車両が動けなくなる事象も発生している。C-GSEエリアの勾配改善や除雪をさらに強化し、安全に通行できる状態を維持することを要請する。

2. ランプ内における課題について

① ターミナルエリアと貨物地区を結ぶGSE通路のさらなる改善について

新たなGSE通路が完成したことで利便性は向上しているが、路面の改修や対面通行化などによる安全性・利便性のさらなる向上を要請する。また、LCCの就航に伴い、ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路を走行する際、0～2番スポットを使用する航空機の出発・到着のために時間を要する事例が多く発生しており、貨物搭載が遅れ、出発遅延に繋がる事例も発生している。ターミナルエリアと貨物地区を結ぶC-GSE通路が航空機によって通行できなくなる時間の短縮を要請する。【内容変更】

〈出発待ちによるGSE通路渋滞の様子〉



② GSE通路全般の改善について

夜間や雨天時に、GSE通行線が見えにくくなっている場所があることから、通行線の再塗装とともに両サイドを黒く塗装する、運航乗務員に影響を及ぼさない範囲で通路全体を照射できる照明施設を設置するなど、さらなる改善を要請する。また、車両通行帯の舗装箇所の段差により、貨物運搬時に大きな揺れが生じ危険を感じるため、路面の点検ならびに改修を要請する。【内容変更】

③ 空港敷地内への不法侵入対策の強化について

過去、鹿の侵入により2本の滑走路が閉鎖する事象が発生している。不法侵入の追加対策として、鹿防止ネットや忌避剤などが設置されているが、航空機との衝突など、安全性を損なう事象に繋がりがかねないことから、定期点検と対策のさらなる強化を要請する。

④ スポットサイドの誘導路およびスポットエリアの補修

長年使用してきた誘導路やスポットではくぼみが生じ、雨天時に大きな水たまりが恒常的に発生している。動くものが水に足を取られることに加えて、防除雪氷液によって滑りやすい状態にあるため危険である。8、9番スポット、12～14番スポットの前を中心とした全体的な点検と補修を要請する。

3. PBBの安全対策および老朽化について

① PBBステップの滑り止め対策について

冬期においては機側作業員（清掃・グラハン・整備）や運航乗務員が積雪・氷結したステップで滑る事例が報告されており、受傷も発生している。国際線ではヒーティング化されているが、国内線ターミナルでは実施されていない。現状では安全上問題があることから、PBB管理者による改善を要請する。

② 国内線PBB内の凍結防止について

国内線PBBは、冬期においては路面が凍結することもあり、お客様が転倒する事象も発生している。冬期凍結を防止するための更なる対策を講じることを要請する。

③ 国内線PBBの老朽化について

国内線PBBは長年使用されており、雨漏りや作動しなくなるなど、老朽化が原因と考えられる不具合が多数発生している。また、対応可能な航空機も限定されており、スポット線りが制限されている。点検の強化ならびに不具合箇所の早期改修、または更新を要請する。【内容変更】

4. 空港関連施設について

① ターミナルビル改修後の運用状況について

現在進められているターミナルビル改修工事により、保安検査場の増設や乗り継ぎ動線の改善、バリアフリー化の推進など、利便性・快適性が向上している。一方で、空港内の案内表示が

見えづらく、お客様が迷っている状況も見受けられることや、依然として階段のみの場所もある。改修後の運用状況を確認しながら、必要な対応を図っていくことを要請する。また、新千歳空港のさらなる利用促進の観点から、到着動線と出発動線の分離や、冬期イレギュラー時にも役立つ情報発信設備の設置など負担軽減に向けて多様な観点からの検討を要請する。

【内容変更】



〈改修中のターミナル内と案内表示〉

② 空港ビル内の空調設備の改善

新千歳空港では、コージェネレーションシステムやクールプロジェクト（雪冷熱供給システム：備蓄した雪を利用したターミナルビルの冷房）を通じ、CO₂削減に取り組んでいるが、環境負荷軽減と快適性の両面より評価し、更に深化させていくことが必要である。クールプロジェクトの深化と併せ、混雑状況に応じた空調温度の設定など、きめ細やかな運用を検討し、空港ビル内の快適性の向上に取り組むことを要請する。

【内容変更】

③ 国際線ターミナルの機能強化について

これまで手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQに関する設備が増設されているが、増設されたカウンターの設置場所は利便性が悪く、また共用施設でもあるため運航便が重複している時間帯では使用が制限され、十分に活用できていない。今後、国際旅客のさらなる増加が予想されており、手荷物仕分け場や旅客カウンター、CIQなどの処理能力向上に向けた施設改修を要請する。【内容変更】

④ 駐車場の混雑について

昨今駐車場が増設され、駐車可能台数は増加しているが、繁忙期には入場待ちで長蛇の列が生じている。その結果、バスやタクシー等の公共交通機関も渋滞の影響で遅れる事象も発生している。渋滞緩和に向けて、動線確保や入場口の増設などの対策を要請する。【新規】

⑤ 大型団体スペースの確保について

大型団体のお客様も増加傾向にあるが、定められた集合場所やスペースもなく、問い合わせを受けてもお答えできない状況にある。空港内の利便性や混雑緩和のためにも大型団体用スペースを設置するなどの改善を要請する。【新規】

観光政策について

1. 需要喚起に向けた観光施策の実現

① 国内の需要喚起について

北海道全域に広がる魅力にあふれた観光地のプロモーション活動に加えて、増加する需要に応じた受入環境の整備を各自治体との協力のもとに強力に推進し、さらなる需要喚起を図ることを要請する。

また、リピーターとして何度も北海道を訪問するサイクルを生み出すためにも、航空各社・ホテル・レジャー施設などが、それぞれのノウハウを活かし、官民が一体となった観光政策の立案が必要であり、道庁による横断的な調整力と強力なリーダーシップを発揮するよう要請する。

② インバウンドの需要喚起について

北海道への外国人観光客数が200万人を超え、中国や台湾を中心としたアジア圏の旅行者が大半を占めている状況にある。一方、アジア圏以外の旅行者も増加傾向にあり、国別や属性別などの分析を深めたうえで、戦略的に海外でのプロモーションを推進し、広域観光周遊ルートを活用するなど、北海道としてのリソースを最大限活用することを要請する。また、多様なバックグラウンドを持った旅行者が安心して観光できるよう環境整備を図ることを要請する。【内容変更】

2. 新千歳空港へのアクセス向上について

① 新千歳空港と札幌近郊地域における公共交通機関のアクセス向上について

JRのダイヤ改正により札幌から新千歳空港への到着時間が早まり、利用者の利便性向上が図られているものの、昨今の空港利用者数の増加、現在検討されている新千歳空港深夜枠利用便の増加を考えると、札幌近郊地域と新千歳空港間については地上交通機関同士の乗り継ぎを含め、さらなる利用者利便の向上が必要である。札幌近郊地域と新千歳空港間における公共交通機関のネットワークとしての利便性向上を図り、早朝および夜間帯の時刻設定の改善など、関係機関への働きかけを要請する。

1. 設備

空港内の案内表示

① 駅改札から出発ロビーへの動線の案内について

駅改札から出発ロビーへは様々なルートで行くことができるが、現在の案内表示では最短ルートが分かりづらい。より分かりやすい案内版の設置や多言語対応等、動線案内の改善を要請する。【内容変更】

② 案内表示のデザインについて

世界各国からお客様が訪れる成田空港においては、言語に捉われない視覚に訴えかけるデザインによる案内が有効だと考える。T3の案内表示を良い事例として、案内表示のデザイン統一や分かりやすさを追求した案内表示を推進していくべきである。

トイレ

① 駅改札内トイレの手洗い場について

駅改札内のトイレの手洗い場は鉄道会社により改修が一部で進められているが、設備が古く衛生的ではない。不特定多数の国からお客様が訪れる成田空港では、感染症の予防の観点からも早急に改修を要請する。【新規】



〈JR成田空港駅改札内トイレ〉

飲食店・販売店・その他店舗

① 飲食店・販売店の充実について

多様化するお客様のニーズに対応するためには飲食店・販売店の充実、店舗営業時間の拡大をより一層進めるべきである。特にT2においては飲食店が少なく特定の店にお客様、従業員が集中し、待ち時間が長くなる傾向にある。お客様や空港で働く従業員のさらなる環境整備のためにもT1にあるフードコートもT2にも設置するべきである。加えて、今後の機能強化に伴い、夜間に働く従業員の増加が予想されるなか、現時点では

夜間に食事を取れる飲食店が少ない。夜間勤務の空港従業員の健康を維持するためにも、夜間従業員用の飲食店の開設、もしくは弁当等の新規の宅配業者へのランプパスの発給制限を緩和するなど対応を要請する。【内容変更】

② 簡易宿泊施設等の設置検討について

早朝便を利用されるお客様や降雪などによるイレギュラー時の対応などに向け、空港を利用されるお客様向けの簡易宿泊施設の増設や短時間で利用できるスーパー銭湯など、お客様の多様なニーズに対応できる施設展開を要請する。【新規】

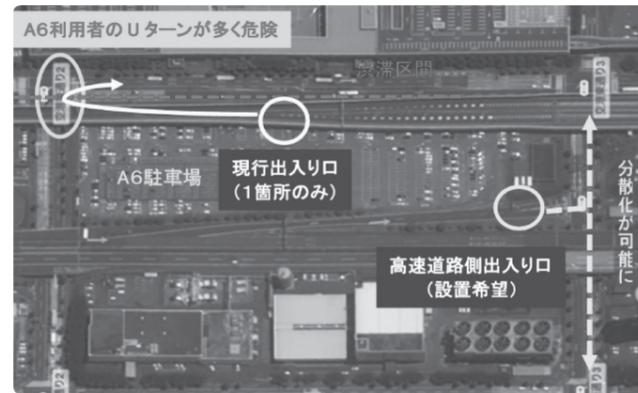
③ T1 空港クリニック診療時間の拡大及び急病人発生時の対応について

T1にある空港クリニックは診療時間が短く、土日祝日が休診のため、診療時間外はT2のクリニックまで移動せざるを得ない。診療時間の拡大及び土日祝日の診療が望まれる。また、急病人が発生した際に、クリニックの医師が初診を行えるようなホットライン体制を確立するなど対応を要請する。

その他

① A6駐車場出入り口の増設について

A6駐車場は出入り口が1ヶ所しかなく、また出入り口が面する空港東通りは渋滞が激しいため、第6ゲート利用者は空港東通り2交差点でUターンせざるを得ない状況が続いており、危険であるため改善を要請する。



② 従業員駐車場の拡充について

現在、T1地区における従業員駐車場が特に不足している。さらに、今後の発着回数増加に伴い、空港で働く従業員が増えることが想定される状況においては、既存の駐車スペースの更なる立体化や駐車場としての用地確保等、従業員駐車場を拡充することを要請する。【新規】

③ 空港内駐車場の料金について

空港の駐車場料金は3.5時間まで260円／30分となっており、送迎または空港施設を利用するお客様の負担になっている。そのようななか、離発着が多くなる前後の時間帯は、到着および出発階への車両が集中して混雑するなど車両の通行が妨げられることもある。送迎客の一時的な利用や空港内施設の利

用促進のため、短時間利用の際の料金の引き下げの検討を要請する。【新規】

④ ダムウェーターの設置・機能強化について

荷物昇降用のダムウェーターはT1の一部のスポットに設置されているのみで、T2には一台も設置されていない。ダムウェーターが無いスポットでは、重たい荷物で両手を塞いだままPBBを降りなければならず、安全上の問題がある。今後の更なる空港容量拡大を見据え、ダムウェーター設備の増設を要請する。

2. 空港の運用

① 出入国検査場混雑について

現状、混雑時間帯において出入国検査場を通過するまでに多くの時間を要している。入国検査場の外国人ブースでの混雑が目立ち、特にT1南ウイングの国際線から国際線への乗り継ぎ時の保安検査場では時期や時間帯によっては入国に1時間以上必要なケースがある。スマートレーンの実証実験やバイオカードの導入が進んでいるが抜本的な解決には至っていない。

また、日本人向けに自動化ゲートの利用促進を航空会社も協力して実施しているなかで、利用登録カウンターの位置がわかりづらく、普及が十分に進んでいるとは言えない。2018年度から導入される顔認証ゲートの普及、利用促進に向けて審査レーンの増設を含めたさらなる利便性を高めることが必要である。また混雑時でも、お客様が迷わず安全に進めるように、整理スペースの拡大などの検討を要請する。【内容変更】

② 夜間におけるAPU(補助エンジン)使用制限の緩和について

現行ではAPU使用可能時間が原則6時～22時までと制限されている。夏季においては、コックピットや客室内が極度の高温になるため作業が熱中症になる危険性があり、作業員の安全のためにもAPUを使用したエアコンの作動が可能となるよう早急な対応の検討を要請する。

3. 交通

鉄道

① 成田空港及び空港第2ビル駅の駅名について

JRおよび京成の駅名が「成田空港」、「空港第2ビル」となっており、初めて成田空港を利用されるお客様にとっては分かりにくい。英語表記と同様に「成田空港第1ターミナル」「成田空港第2・第3ターミナル」という、すべてのお客様に分かりやすい表記に変更するべきである。

② 早朝・深夜帯の鉄道ダイヤ設定について

朝6時台に成田空港を出発するLCCの便も設定されており、当該便に搭乗するためには朝5時台に成田空港に到着する必要がある。また、イレギュラー等で航空機の到着が遅れた場合、

23時以降の交通手段はバスやタクシーなど限られた手段となり、利便性を損ねている。加えて、空港内飲食店の営業時間も終電に応じて設定されており、ニーズに応じた営業ができない一因となっている。今後空港の運用時間拡大が実施される中、お客様・従業員ともに運用時間に合わせたアクセスができるような鉄道のダイヤ設定を要請する。【新規】

バス

① バスチケットの購入方法及び乗車方法について

成田空港発のバスのチケットを購入する際、バス運行会社によりチケット販売カウンターが異なるため、カウンターを間違えて列に並ぶお客様が多数見受けられる。運行会社に関わらずチケット販売カウンターを統一するなど、よりわかりやすい仕組みに変更すべきである。

② 利用ニーズに応じたバス運行

成田空港発のバスは、時間帯によっては頻りに満席になることや、利用したい時間帯の出発時刻の設定がなされていないことがある。お客様の利用状況を分析し、混雑する時間帯には運行本数をさらに増やすなどの対応を検討する必要がある。【新規】

4. 施設補修

① 沖スポット等における車両通行線の視認性改善について

ランプ内車両走行ラインは雨天時、夜間、濃霧発生時など著しく視認性が悪くなる。特に上記条件下で沖スポットや誘導路を車両で横断する際に影響が大きく、危険な状況であるため、より視認性・耐用性の高い塗料にて明示すべきである。【内容変更】

5. その他

① 空港内車両運転許可の全国統一化と講習・試験の簡素化について

空港内の車両運転に関わる基本的なルールはすでに全国で統一されていることから、講習・試験の内容を空港別のルール・注意事項のみとすることで簡素化することができる。加えて、オンラインによる講習・試験や各事業者による教育の導入を検討することで、タイムリーな車両運転許可の取得を促進していくべきである。

1. 航空局東京空港事務所

① ランプ内損傷箇所・不鮮明な地面標示の補修

羽田空港のランプ内で働くものの安全確保や利便性の改善のため、ランプ内損傷箇所や不鮮明となっている地面標示の補修および改修の対応をお願いしたい。

② 空港内のセキュリティ強化

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなる空港施設内のセキュリティ強化が求められている。空港施設内の保安対策について、新技術の導入なども含め検討状況を確認したい。 **【内容変更】**

2. 日本空港ビルデング

① 航空保安・テロ対策強化

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、さらなる保安強化策の検討をお願いしたい。

② 空港利用時の利便性向上

- スーツケース等が入る大型コインロッカーの増設をお願いしたい。 **【新規】**
- 第1、第2ターミナル内のベンチの数が不足しているため、増設するとともに、優先座席の割合を増やしていただきたい。
- 第1ターミナル内医療施設の診療時間延長について、関係機関への働きかけをお願いしたい。 **【新規】**

③ 空港内施設のユニバーサルデザイン化

- 電動車いすなどを係員が階段で運ぶ際の安全確保の観点から、第1ターミナルPBB内のエレベーターを増設していただきたい。
- 一部エリアに設置されている多機能トイレの追加や、障がい者/LGBTの方などだれもが自由に利用できるトイレ環境の整備をお願いしたい。 **【新規】**



- ターミナル内の点字ブロックについて、空港内の移動をスムーズにする観点から、視覚障がい者の動線を確保できるような配置を検討いただきたい。 **【新規】**



- ターミナル内の各事業者と一体となって、訪日外国人への対応力の強化（言語・食事等）をお願いしたい。 **【新規】**



④ 空港周辺道路の標示・運用の改善

- 繁忙期における駐車場入場待ち車両の渋滞が依然として恒常化している。現在、建設中のP4増設を含め、対応策の検討をお願いしたい。 **【内容変更】**
- 到着階では一般車両による送迎が多いため、送迎エリアの確保や一般車両の乗り入れ場所の明示など、対応をお願いしたい。

3. 東京国際空港ターミナル

① 空港利用時の利便性向上

- 出発階と国際乗り継ぎの保安検査場混雑緩和に向けた対応をお願いしたい。あわせて、外国人旅客の入国審査における混雑緩和に向けて、関係機関への働きかけをお願いしたい。 **【内容変更】**
- 無料Wi-Fiは空港内全域で利用可能となったが、場所によって電波の強弱がある。現状の確認とその対応をお願いしたい。 **【内容変更】**
- 深夜便利用旅客の利便性向上に向けて、休憩施設や乗り継ぎ旅客が活用できる施設などの充実について検討状況を確認したい。 **【内容変更】**
- 訪日外国人旅客への対応力強化に向けて、ターミナル内各店舗の事業者向けに翻訳ツール、アプリの提供、もしくは各事業者へのサポート体制を構築し、各事業者と空港施設管理者が一丸となった対応を検討いただきたい。 **【新規】**

② 空港内施設のユニバーサルデザイン化

一部エリアに設置されている多機能トイレの追加や、障がい者/LGBTの方などだれもが自由に利用できるトイレ環境の整備をお願いしたい。 **【新規】**

4. 京浜急行電鉄

① 駅ホームにおけるさらなる安全対策強化

ホームドアの設置について、今後の利用者増加を見据え、2020年までに設置を予定されている5駅（京急蒲田・京急川崎・横浜・上大岡・羽田空港国内線ターミナル）に加えて、設置駅を増やしていただきたい。 **【新規】**

② 鉄道利用者の利便性向上

- インバウンド旅客の増加などによって要望も増えているクレジットカードによる乗車券の購入について、使用可能なカードの拡充をお願いしたい。 **【新規】**
- 訪日外国人のお客さまにも分かりやすいよう、羽田空港駅構内の案内表示の改善や、振替輸送時の案内明示をお願いしたい。 **【内容変更】**
- 車内の混雑緩和に向けて、車内に大型荷物置き場の設置をお願いしたい。 **【新規】**
- 改札での混雑緩和に向けて、自動改札機の増設等をお願いしたい。（天空橋駅・国内線ターミナル駅） **【新規】**

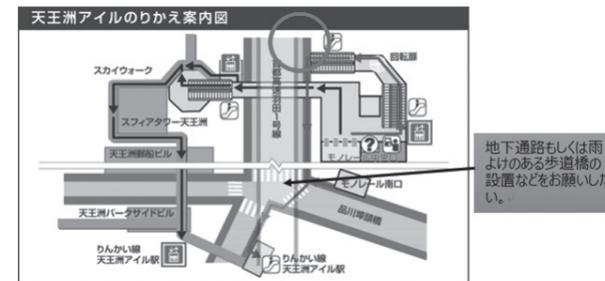
③ 空港線の輸送力向上

羽田空港国内線ターミナルへのアクセスの観点から、通勤時間帯のダイヤの改善について検討をお願いしたい。 **【内容変更】**

5. 東京モノレール

① モノレール利用者の利便性向上

- 自動券売機でのクレジットカード利用拡充に向けて、引き続き検討をお願いしたい。
- 他社線乗り継ぎにおける利便性向上や天王洲アイル駅でのりんかい線への乗り換え動線の改善について検討をお願いしたい。



- 空港内各駅（第1ビル・第2ビル・国際線ビル）での降り間違え防止のため、ホーム案内表示の増設等の改善をお願いしたい。 **【新規】**

② 駅構内のユニバーサルデザイン化

新整備場駅および整備場駅における手摺・エレベーターの設

置など、バリアフリー設置基準ガイドラインに基づく環境整備を引き続きお願いしたい。 **【内容変更】**

③ 駅ホームにおける安全確保

他交通機関のダイヤが乱れた時や遅延発生時に、浜松町駅ホームにお客さまが集中することがある。状況に応じてホーム階への上りエスカレーターを適宜止める仕組みなど、安全対策の検討をお願いしたい。 **【内容変更】**

6. 東京空港交通

① リムジンバス利用者の利便性向上

- 深夜における羽田空港発着便の増加にともない、空港と各地を深夜に移動されるお客さまも増加している。バス最終便の繰り下げや増便などの検討をお願いしたい。
- クレジットカードによる回数券や定期券などの購入を可能とするよう検討をお願いしたい。 **【新規】**
- 各社のバス搭乗案内アナウンスとバス搭乗口近くの案内板の音声とが重なり聞こえにくくなっている。各社のバス搭乗案内アナウンス方法改善の検討をお願いしたい。 **【新規】**

② 専用リフトバス(Passenger Boarding Lift)の増配備

オープンスポットからの発着便において、車いすのお客さまを航空機へご案内するために必要なPassenger Boarding Liftは昨今増配備されてはいるが、依然としてお客さまをお待たせしている状況が発生している。引き続き増配備の検討をお願いしたい。 **【内容変更】**

7. 京浜急行バス

① バス利用者の利便性向上

- Y-CATと新整備場地区間のバスについて、通勤利用者も多く増便の検討をお願いしたい。 **【新規】**
- バスを通勤手段として利用している方も多いため、定期券が設定されている路線は限られている。潜在的なニーズも踏まえ、定期券の適用路線の拡大をお願いしたい。 **【新規】**
- クレジットカードによる回数券や定期券などの購入を可能とするよう検討をお願いしたい。 **【新規】**

8. 東京都

① 羽田空港アクセスの利便性向上

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを含め、訪日外国人旅客の羽田空港から臨海エリアへのアクセス増加が見込まれている。天王洲アイル駅でのモノレールからりんかい線への乗り換えには利用客の多くが南口を利用することが予想され、雨天時やスーツケースを持った移動、車いす、ベビーカーでの移動にとっては不便である。都・区・各事業者が連携し、協議を行うなど、解決に向けた具体的な取り組みを進めるようお願いしたい。

発展する産業に向けて

1. インバウンド需要拡大における環境整備

2017年度の中部国際空港の空港利用者は好調なインバウンド需要に加え、日本人旅客も前年度を超えるなど順調に増加している。中部国際空港の更なる発展に向けて、アジアのみでなく、アジア圏以外についても国籍や年齢、性別などの属性に応じて、きめ細やかにニーズを把握して戦略的に海外でのプロモーションを推進し、広域観光周遊ルートを活用するなど、リソースを最大限活用すべきである。

空港内の案内表示の多言語化・明確化、空港へのアクセスや名古屋駅における乗り換えの利便性向上は受け入れ体制強化において大きな課題である。増加する需要に応じた受け入れ環境の整備を推進し、航空需要を確実に取り込み、世界中のお客様から選ばれる空港となるよう、早急な対応を図りたい。

【内容変更】

2. 空港における受け入れ体制の強化

出入国手続きの混雑緩和については関係機関が協力して対応いただいているが、依然として手続きに時間を要しており、ピーク時間帯においては長蛇の列になるなど旅行者にとって大きな負担となっている。

また、観光先進国実現に向けて、急増する訪日旅行者に対して受け入れ環境を整備し、物的・人的体制の強化を計画的に図り、旅行者の負担軽減に繋げるべく出入国手続きや保安検査の迅速化・円滑化に向けて関係各所と連携し環境の整備を図りたい。

【内容変更】

働きやすい産業に向けて

① 空港内車両走行について

空港施設内の危険箇所においては注意喚起のマーキングを施し対応していただいているが、より安全な職場環境の構築のため、制限に対する標識または表示の設置、死角場所へのカーブミラーの設置を要望する。

【内容変更】

② ERAラインについて

現在引かれているERAラインは大型機用に設定されており、小型機をハンドリングする際は器材準備場所として有効活用ができてない。また、一部のスポットにおいては隣接スポットとの境界線が途中までしか引かれていないため、ERAラインとし

ての機能を果たしていない。作業環境向上と安全運航確保のため、有効的なERAライン導入の検討を要望する。 【内容変更】

③ GPUケーブルについて

スポット22及びスポット26に小型機が駐機する際、GPUケーブルが短く、装着中のGPUケーブルが抜け落ちる危険性がある。GPUケーブルの延長または、航空機停止位置の調整を要望する。 【新規】

④ 8番スポット前の通行帯について

雨天時の水溜まりが再度悪化してきている。以前に対応いただいたが、不具合の解消に至っていないため根本的な原因の究明、通行帯の改修を要望する。 【新規】

⑤ マンホール蓋の取手部分について

GPU PITを使用するために収納されているマンホールの蓋を開ける際、特に雨上がり時は取手部分に残った雨水の中に手を入れて持ち上げなければならず、軍手が濡れてしまうことで、その後の旅客手荷物等の取り扱い作業へ支障をきたすため、雨水が溜まらないような構造への改修を要望する。 【新規】

⑥ 国内線ソーティング場到着ベルト付近の歩行者動線について

歩行者動線が明確になっていないため到着ベルト2番で作業が行われている場合、お互いの動線が交錯するうえ、器材で死角が発生するため危険である。安全で効率的な歩行者動線の導入を要望する。 【新規】

⑦ PBB収納位置について

19番スポットにA320機材が駐機する際はNo.2 PBBを使用するが、航空機がオーバーランすると、PBB同士の接触防止センサーが作動し、装着不可能となる。事案発生時はその都度NO.1 PBBをあらかじめターミナル側へ移動させ、PBB同士のクリアランスを確保する作業を行っている。また、スポット24は収納位置まで動かすことができず、マーキング内に完全に収納できない。適正な収納位置の検証、変更を要望する。 【新規】

⑧ 貨物地区無ナンバー通行帯について

無ナンバー通行帯の凹凸や轍の影響により搬送中に貨物の荷崩れや転倒が発生し、貨物を損傷させる可能性があるため、路面の改修を要望する。 【新規】

⑨ PBBゼブラゾーンについて

2、3番スポットにおいて特定機種をハンドリングする際、ERAライン外のPBB装着動線にゼブラゾーンが無く、作業上危険を感じることもある。車両や人がいた場合危険となり得るため、ゼブラゾーンの追加を要望する。

⑩ HIGH POWER RUN UPエリアの新設について

航空機のHIGH POWER RUN UPが必要になった際は柔軟な対応が図られているものの、TAXI WAYでのRUN UPであり、

他の航空機に配慮を必要とするため、作業時には依然として多くの制約がある。他の多くの空港に設置されているRUN UPエリアを中部国際空港にも設置することを要望する。

⑪ 害虫駆除対策の継続、拡大について

依然として空港内に虫が大量発生している。ランプエリアでは、機内に入り込んだ虫を駆除するため、キャビンドアクローズが遅れるなど、航空機の遅延に繋がっている。また、作業者の服やヘルメットの中にも入り込んでくるため、作業に支障をきたしている。引き続き事前の抑制に努めていただくとともに、貨物地区への対策の拡大や殺虫器の設置を含めた害虫駆除対策を要望する。 【内容変更】

⑫ 上屋内における鳥糞被害について

鳩糞による貨物汚損が再発している。衛生面においても、人体への影響が懸念されることから今一度、現状と生息状況を確認し、上屋の害鳥駆除について関係者と協力して早急な対応を要望する。 【新規】

⑬ 貨物エリアの避難経路について

貨物エリアで働く全ての作業者が安心して避難できるよう、継続して避難動線を点検いただくことを要望する。 【内容変更】

利便性向上に向けて

① 貨物地区通行帯について

貨物エリアの制限速度は20km/hに設定されているが、守られていないことが多い。通行帯を渡る際は横断歩道を利用するものの、近辺がトラックの駐車スペースとなっているため、死角が多く危険を感じる。改めて運転手ヘルメット順守を含めた安全運転を促すことを要望する。 【内容変更】

② 国際線バスゲートへの通行帯について

国際線バスゲートへ通ずる通行帯の路面の凹凸が酷く、走行中にバスが大きく揺れることがある。お客様の転倒事故に繋がる可能性があり危険であるため、路面の改修を要望する。 【新規】

③ PBB内の美化について

経年によりPBB内の操作盤付近や側溝、鉄柱部分、絨毯の汚れが目立っている。お客様により気持ち良く利用していただくために、清掃の徹底やリペイント、部品の更新等の対応を要望する。 【新規】

④ 国内線106番バスゲートについて

106番バスゲートには車いす用のスロープが設置されておらず、106番バスゲートよりPassenger Boarding Liftを利用して搭乗される車椅子のお客様をご案内する際、105番バスゲート側に設置されているスロープを使用している。105番バスゲートと106番バスゲートからの搭乗が重なる場合には、106番バスゲートの搭乗を一時中断するケースがある。また、

105番バスゲートに設置されているスロープを通過した後も、当該バスゲートにバスが駐車されている際、バス自体を迂回し106番バスゲートに向かう必要があり、お客様の安全性・快適性の観点から課題がある。106番バスゲートへ車椅子用のスロープの設置を要望する。 【新規】



〈国内線106番バスゲート付近〉

⑤ 国内線保安検査場について

時期や時間帯により検査場通過に長い時間を要し、お客様に負担をかけている。また定時運航のためお客様の誘導や捜索をすることが増え、現場の負担も大きくなっている。よりお客様が利用しやすく、従業員が働きやすい施設となるよう国内線保安検査場の改善を要望する。 【新規】



〈国内線保安検査場の混雑状況〉

1. 空港を利用されるお客様にとって
快適で便利な空港づくりに向けて

① ターミナル施設のバリアフリー化促進について

旅客ゲートに設置されているエスカレーターは、車椅子にも対応できるように通常の3段分が平らになる設定ができる。平らな設定にした場合、大きな段差が生じることから係員が車椅子利用のお客様を安全にサポートすることが難しく、お客様の中には恐怖心を抱かれる方もいる。車椅子を利用するお客様がより安全に使用できるよう改善策を検討いただきたい。



〈旅客ゲート付近のエスカレーター〉

Terminal 1は複数階構造になっており、鉄道駅から4階の国際線出発フロアに向かうためには、階の移動が必要になる。エスカレーターによるカート利用は禁じられているため、階の移動にはエレベーターを利用する必要がある。多数の荷物をカートに乗せた外国人旅行者が増加しており、唯一の移動手段であるエレベーターの本数が少ないため慢性的な混雑が発生している。そのため、車椅子など配慮を要するお客様が利用しづらい状況にある。エレベーター増設など改善策を検討いただきたい。

国際貨物地区に立ち入られるお客様はバスを利用する必要があるが、バス乗り場に向かうためにエレベーターを使用した場合、バス乗り場までの距離が長いので、足の不自由なお客様に負担がかかっている。負担軽減のためにバス乗り場に近い階段付近へのエレベーター設置を検討いただきたい。【新規】

② 案内表示について

鉄道駅から国際線ロビーへの誘導看板がわかりづらく、国際線出発ロビーへの行き方についてお客様から問い合わせを受けることが多い。また、誘導経路を一旦離れてしまうと看板が少ないことから目的地にたど



り着けないケースもある。表示の改善と看板の増設を検討いただきたい。

保安検査場からゲートまでの距離や所要時間が把握できず、結果的に乗り遅れてしまうお客様がいるため、保安検査場付近にゲートまでの距離と所要時間を表記した案内看板の設置を検討いただきたい。

国際貨物区域のバス停を案内する看板がエアロプラザへの歩道橋脇に設置されているが、一時立ち入り証の発行場所など関空を初めて訪問された方にとって認識しづらい。また、朝のラッシュ時においては、看板付近が長蛇の列になっていることから看板が隠れてしまい、Terminal 2行きのシャトルバス乗り場と間違えて並ばれる外国人観光客がいる。駅構内での案内表示や、より目立つ看板にするなど対策を講じていただきたい。

Terminal 1の2階にはインフォメーションセンターがカーソルしかないため、空港係員が各所で旅客からの空港施設に関する問い合わせを受けることが多い。これらに対応するインフォメーション係員を鉄道駅や保安検査場付近等に増員いただきたい。【新規】

③ 無料Wi-Fiサービスについて

ゲートエリアのランプサイドに近いベンチ付近は、無料Wi-Fiに接続しにくくなることもある。今一度Wi-Fi接続環境の点検をお願いしたい。また、「Free WiFi@KIX」のKIXが関西空港と認識できず係員に問い合わせる外国人観光客もいるため、関西空港とすぐにわかるような表記にするなど改善していただきたい。

④ Terminal 2エリアの施設改善について

81～83番スポットにつながる横断歩道が横並びになっており、飛行機が当該スポットに並んだ場合、お客様が別の便に搭乗しかねない。誤搭乗防止のため横断歩道の色分けや埋め込み式のボールの設置など検討いただきたい。



〈81～83番スポットにつながる横断歩道〉

⑤ Terminal 1, 2内飲食店の更なる誘致等について

近年のインバウンドの増加に伴いターミナル内の飲食店も賑わいをみせており、昼食、夕食の時間帯はかなり混雑している。お客様も入りづらく、また、お客様を優先とするエアライン従業員が制服を着用したまま店内で食事することは難しく、休憩時間も限られているため、従業員も利用しやすいリーズナブルな設定の専門店の更なる誘致や従業員割引の設定等を検討いただきたい。【新規】

2. 空港で働くものがいきいきと働き、
空港としてのパフォーマンスを
さらに発揮できる環境をめざして

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① PBB施設の改修について

- PBB全般の施設改修を検討いただきたい。
- お客様が滞留しやすいPBB可動橋にエアコンを設置いただきたい。
- PBB先端モニターの解像度が低下しており、退避位置・待機場所の判別が難しく不安全なため改修いただきたい。
- PBB操作盤内機種別プリセットが現在就航されていない古い設定となっているため、更新いただきたい。
- PBB内に段差が生じており、車椅子利用のお客様が転倒する危険性もあるため、改修いただきたい。

② 保安区域の出入りについて

保安区域を出入りする際は立入証（ランプパス）の提示が必要であり、保安区域内に本社事務所がある事業所の場合は、出社・退社時に提示が必要のため、ランプパスを自宅に持ち帰っている現状がある。ランプパスを空港外に持ち出すことで紛失、盗難、悪用される可能性もあるため、保安区域の出入りについてはランプパスの提示ではなく、「貨物立ち入りパス」の新規導入や、将来的には指紋認証などの生体認証の導入を検討いただきたい。

③ ターミナル施設のバリアフリー化促進について

車椅子を利用している従業員は、エアライン棟の従業員入口ドアを自力で開けることが困難であり、遠回りして自動ドアがある経路から出退勤している。引き戸に改修するなど、すべての従業員にとって働きやすい環境を整えていただきたい。

2) ランプエリア関連

① 従業員数に見合ったトイレの設置について

ターミナル北側の15、16番スポット付近、および南側の27、28番スポット付近には主要会社だけでもピーク時にはそれぞれ平均150名以上の従業員が勤務しているが、男性用の個室トイレは多いところでも2カ所しかない。従業員数に見合った適切なトイレの設置を検討いただきたい。また、和式の個室トイレについては、作業着を着たままでは大変利用しにくいので、すべて洋式トイレに変更いただきたい。

② ランプエリア共用休憩室について

- 共用休憩室の設備を充実していただきたい。
- AEDの設置
- 喫煙場内に腰掛の設置
- Edyチャージ機の設置
- インスタント食品等の自動販売機の設置

- 避難誘導路の認知度向上のため、BCP関連の資料（退避MAP）の掲示

③ ランプエリアの凹凸について

15、16番スポット付近の凹凸により、雨天時には水はけが非常に悪く、数日たっても水がはけられない状況である。また、29番スポットのアスファルトが隆起して段差が生じており、機材が引っ掛かり作業しづらい。事故の原因になる可能性もあるため改修いただきたい。

〈29番スポットのアスファルトが隆起〉



④ VDGS（駐機位置表示灯）の設置について

北側スポットにはERAラインが道路近くまで引かれているスポットが多く、大型機のマーシャリング作業時は、道路際で実施する必要があり非常に危険である。以前発生した「航空機誘導時、誘導者が車両と接触した事故」の再発防止のため、事故が発生した8番スポットとERAラインが道路に近い6番スポットにVDGSを設置いただきたい。

⑤ 大災害時の対応、避難経路誘導看板の
改善について

ランプエリアにある避難経路誘導看板は、向かうべき避難場所と現在位置が表記されておらず、どこへ避難すればよいのかわかりづらいため、看板内に地図を加えるなど改善していただきたい。また、2期島の避難場所は「避難場所」であることを示す看板が少ないため、一目で避難場所とわかるように設置数を増やすなど改善していただきたい。



3) 貨物エリア関連

① 国際貨物地区における安全性の確保について

国際貨物地区では全般的に車道が優先され、歩道の確保が十分ではない。また道路に停車しているトラックもあり、歩行者が車道を通ることになり大変危険である。歩行者の安全確保のため、ポールやガードレールの設置または白線を修復し路側帯を明確にするなど改善していただきたい。

4) その他

① 駐車場の立体化や増設について

Terminal 1側駐車場の駐車量が多く、大型連休などの際には、お客様、従業員ともに車を停めることができず影響が出ているため、駐車場の立体化や増設を検討いただきたい。【新規】

大阪国際空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって 快適で便利な空港づくりに向けて

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① 空港駐車場の拡充・アクセス改善

昨年度以降、空港周辺の道路整備や降車スペース、送迎スペースの設置等が実施され、アクセス改善が図られてきている一方で、週末や連休時には混雑状態にあると認識している。快適な駐車場となるよう駐車場へのアクセスを含め、引き続き改善を検討いただきたい。【内容変更】

② ターミナル商業施設の充実

2018年4月の中央エリア先行オープンにより、商業施設の拡充が図られてきている。今後も、航空機利用者のみならず、地域住民の方々も利用したいと思える空港施設の実現に向け、ご家族連れの方も気軽に利用できるフードコート等の設置を検討いただきたい。また、クリーンエリア内におけるコンビニや飲食店の充実も更に強化・拡充していただきたい。【内容変更】

③ ターミナルビルのバリアフリー化促進について

- 複数名乗車しても安全が確保できるよう、広いエレベーターの設置や増設を検討いただきたい。
- 空港内床面は、雨天時濡れることでかなり滑りやすい状況になるため、カーペット化を検討いただきたい。

④ ユニバーサルデザインの視点を取り入れた案内表示

- 更に利用しやすくするためIT(QRコードなど)を活用した案内表示導入を検討いただきたい。
- ゲート(北23番、南9番)とバスゲート(北23A/23B/23C、南9A/9B/9C)が隣接しており、ゲート間違いによる乗り遅れとなる事案が発生している。誤認識を防ぐ表示とするよう検討いただきたい。

	階層	【現状】	【提言内容案】
北ターミナルビル			
搭乗ゲート	ビル2階	23番	23番
バスゲート	ビル1階	23A	300番
		23B	301番
		23C	302番
南ターミナルビル			
PBBゲート	ビル2階	9番	9番
バスゲート	ビル1階	9A	500番
		9B	501番
		9C	502番



〈23番ゲート(左)と、23A/23B/23Cバスゲート(右)〉

- ゲート案内表示に所要時間に加えて『距離』の併記も明示していただきたい。

⑤ ターミナルビルオープン時間の前倒し

オープン前に数名のお客様が館外で待機している状況が見受けられる。オープン時間の前倒しか、年末年始の期間限定でビルオープン時間の前倒しを検討いただきたい。

⑥ 到着手荷物返却場について

- お客様の利便性の更なる向上に向け、以下を検討いただきたい。
- 椅子の増設
- リムジンバスの券売機および交通系ICカードのチャージ機の設置

【新規】

2) 貨物エリア関連

航空機に搭乗されるお客様だけではなく、航空貨物を利用するお客様(個人・代理店)にとっても、安全かつ、快適な利用ができるよう施設の改修や設置を検討いただきたい。

① 台車などでの貨物運搬時における貨物損傷防止に向けたトラックヤード側路面の凹凸修繕



〈トラックヤード側路面の凹凸〉

② 貨物地区トラックヤードにおける車両と人の動線を棲み分ける路面塗装の修復



③ 貨物上屋の老朽化について

貨物搬出入などをハンドリングする際使用するシャッターに

おいて、作業効率上プライオリティの高いシャッターを優先的に修復するなど、引き続き改修・修復をおこなっていただきたい。また、貨物上屋全体の老朽化への対応も含め改修を検討いただきたい。【新規】

2. 空港で働くものがいきいきと働き、 空港としてのパフォーマンスを さらに発揮できる環境をめざして

1) ターミナルビル施設・エリア関連

① 従業員用の保安検査場について

現行、南北それぞれ1レーンのみとなり、時間帯によっては、搬入業者と乗務員で混雑している状況がある。今後、クリーンエリア内における商業施設の更なる充実が発表されており、更なる混雑も予想されることから、従業員用の検査レーンの増設を検討いただきたい。【新規】

② スポットでのIDLE RUN UP実施可能時間の拡大について

航空会社の機材整備を円滑に実施できる環境を整備することで、確実な定時運航につなげるため、スポットでのIDLE RUN UP実施可能時間の更なる拡大を検討いただきたい。

2) ランプエリア関連

① 路面塗装の改善

ランプ内車両通行帯が経年に伴い、塗装の剥がれが発生しており、夜間や雨天時等は特に視認ができない状況にある。ランプ内事故の防止の観点で、各種路面や標識の再塗装を実施いただきたい。また、各スポットへの進入ラインについても、視認性向上のための再塗装を実施いただきたい。【新規】

② ランプ内凹凸の修繕

- 第1エプロン内(3,4番スポット)
- 5番スポット 進入ライン上
- 24番スポット前幹線道路カーブ箇所
- 北ターミナル到着手荷物回転台への進入口付近

【内容変更】

③ TAXI WAY誘導路灯の設置

夜間雨天時におけるPUSH BACK作業の安全性向上に向け、第1エプロンから第3エプロンまでのTAXI WAYに誘導路灯を設置していただきたい。

3. 空港保安強化を通じて、 さらに安全で安心な空港づくりをめざして

① ID認証や防犯カメラの設置

従業員などの出入り管理の徹底という観点で、空港全域を対象にID認証化を導入していただきたい。【内容変更】

神戸空港について

1. 空港を利用されるお客様にとって 快適で便利な空港づくりに向けて

① ゲートアナウンスの改善

2階出発ロビー内の喫煙所、喫茶店にアナウンスが入るよう改善をいただきたい。搭乗予定のお客様が案内に気付かないケースがある。また、今後の訪日旅客増加に対応するため中国語等を含めた多言語のアナウンスを検討いただきたい。【内容変更】

② PBB施設の改修

各スポットのPBB先端部のみエアコンが装備されており、PBBの付け根付近は通路混雑時に非常に暑くなる。

エアコンの増設や機能の向上、定期的なメンテナンスを検討いただきたい。



〈神戸空港のPBB〉

2. 空港で働くものがいきいきと働き、 空港としてのパフォーマンスを さらに発揮できる環境をめざして

① ランプ内安全

- 給油所に向かう車両通行帯のアスファルトの路面が盛り上がり、段差になっている。機材故障の恐れや運転者への安全面から舗装工事を実施いただきたい。【内容変更】



〈車両通行帯の段差〉

- プッシュバックを行うPGラインが夜間や悪天候下などは視認性が悪いため、視認性向上のための修繕を実施いただきたい。【新規】

② 保安強化

オープンスポットハンドリング時に、お客様への案内用の看板の設置や歩行動線の明確化を検討いただきたい。【内容変更】

1. お客様にとって魅力ある空港づくり

① 保安検査場について

お客様が空港に到着した際、北／南の保安検査場に向かう動線がわかりづらいという声が寄せられている。初めて空港を利用するお客様でも、それぞれの保安検査場への動線がわかりやすいよう案内表示の工夫をしていただきたい。また、北／南の保安検査場の混雑状況をモニターで確認できる環境にあるものの効果的な配置になっていないため改善を要望する。

現状、保安検査場入口にはANA／JAL 2社の係員は配置しているが、他社の係員は配置されておらず他社利用のお客様から2社だけの保安検査場なのか問い合わせを受けている。全ての航空会社で利用できる旨記載された案内表示の設置やアナウンスを強化するなどの対応を図っていただきたい。【新規】

② 出発ロビー内への電動カート等の導入について

搭乗口によっては保安検査場からの距離が長い箇所もあり、高齢のお客様・お子様連れのお客様から長距離移動に関するクレームも受けている。電動カートの導入などお客様の利便性向上に向けた改善を検討いただきたい。【内容変更】

③ ターミナル周辺道路の案内表示について

立体駐車場出入口及び、降車場からの動線が分かりづらく、ドライバーの不意の車線変更等により車両同士の接触事故に繋がりがかねない。視認性向上のため道路標示案内の拡大等、安全確保に向けた改修について関係機関への働きかけを要望する。【新規】

④ 国際線駐車場枠

新規LCC就航などにより国際線が増加しているが、駐車場の枠は既存のみである。また、土日・祝日・連休の際に駐車場入庫待ちによる渋滞が発生しており事故を誘発する危険性がある。今後の増設等の展開を含め関係機関への働きかけを要望する。【新規】

⑤ スポットでのRUN UP要件の緩和

現在スポットでのRUN UP要件においては、片側ずつ5分間の制限があり、かつIDLE RUN UPのみとなっている。両エンジンのIDLE RUN UPが必要な際に、都度RUN UPエリアへトーイングしなければならず、運航の大幅な遅れにつながっている。スポットでのRUN UP実施要件の緩和を定時性向上の観点から要望する。【新規】

2. 従業員が働きやすい空港づくり

① オープンスポットでのPASSENGER STEP車共同配置

各航空会社がスポットを共同で使用し、かつスポット使用計画が過密であるため、一部スポットにおいては、PASSENGER STEP車が他社便のスポットインやお客様の降機を妨げかねない状況である。効率的なオペレーションや他社への阻害行為回避等解消に繋がる共同配置を実現することでより働きやすい環境の実現を要望する。【新規】

② 空港を利用するお客様の安全確保とテロ対策

現状、逆流防止装置の設置ならびに立哨警備員の配置が場所によっていずれか片方の運用となっている箇所がある。どちらか片方の運用は安全上、不十分であるため、確実に逆流防止装置の設置ならびに立哨警備員の配置を要望する。【新規】

③ 貨物地区環境整備について

新貨物地区において、代理店トラックの歩行帯への駐車による従業員の出勤ならびに就業中の安全が十分に確保できない環境にある。航空会社から代理店へ注意喚起しているものの改善が図られないため、関係各所への注意喚起等、働きかけを要望する。【新規】



〈代理店トラックの歩行帯への駐車〉

④ ランプ内車両通行帯の表示全般の明確化

現在工事中の7番スポット後方の迂回路と車両通行帯が交わる地点において、どちらが優先であるかのルールが示されたものの、明確な表示がなく車両同士の接触事故が起こる危険性がある。一時的であるもののランプの安全確保の観点から明確な表示を要望する。

また、工事の度に車両の動線が変更になり、旧車線と新車線の判別がしづらい環境にある。旧車線は灰色で上塗りされているものの、夜間や雨天時には新車線と見間違える可能性があり危険である。同様に一部スポットにおいては視認性が悪く夜間トーイング時にスポットを誤認するリスクが潜在しているため補修を要望する。【新規】

⑤ 災害発生及び雷接近時の統一された情報発信について

お客様及び空港で働くものの安全確保の観点から、暴風や雷発生等の天候不良時における警報の発令について、退避基準を含めエアラインでの判断となっておりバラつきがある。国として統一された情報を発信することで、お客様及び働くものの双方が安心することができる空港づくりが必要であり、検討をお願いしたい。【新規】

⑥ GSE配置場の適正な設置について

各航空会社がオペレーション品質向上のための新規増車を検討しているが、制限区域内におけるGSE配置場が不足しており、増車が制限されている状況である。空港再整備工事の際、各航空会社が均等な位置に適正な台数を駐車できるスペースを設置することを要望する。【新規】

北九州空港について

1. お客様にとって魅力ある空港づくり

① 免税店を含む商業施設の充実

ターミナル内の飲食店や土産物店が少なく、また出国手続き後のエリアには非常に小規模の免税店のみで品揃えも限られており、特にインバウンド旅客には魅力に乏しい。新規出店の募集や免税店の拡大を要望する。【新規】

② 空港アクセスの改善について

空港へのアクセスは、直行高速バス・JRと路線バスの乗り継ぎ・自家用車・タクシーが中心となっているが、特に高速バスについて就航便にあわせて発着がなされているが、お客様が多い場合は定員を超え利用できないことがある。また、ダイバート等のイレギュラーが発生した場合にも、交通手段が限られている。高速バスの増便、大型化、ならびに空港アクセス鉄道の検討を要望する。【新規】

③ 自家用車用設備の改善

- 繁忙期は未舗装の臨時駐車場を使用している。
- 迎えの車がターミナル前の道路へ列を作って停車している。
- 週末には駐車場や周辺道路が、空港利用者以外の自家用車の溜まり場となっている。
- レンタカー駐車場への進入路が分かりづらく、道を誤る車が散見される。

このような現状を踏まえ、駐車場設備の改善、看板の設置ならびに警備員、誘導員の配置を要望する。【新規】

④ CIQ設備の充実

CIQ（特にQ）が24時間体制になっておらず、深夜早朝の就航が制限される。お客様の利便性の観点で、CIQ各所で24時間対応の予算・体制・設備の整備を要望する。【新規】

⑤ ターミナルビル拡大に向けた抜本的取り組み

現在空港ターミナルビルの拡張を行っているが、ビル増築ができず、エアライン事務所の立ち退きにより、お客様用のエリアを増設している。しかし、建物の容積は増えないため、スポット、カウンターの増設、店舗設置等、就航便の増加やサービス改善に対応できるか懸念がある。抜本的なターミナルビルの増築を要望する。【新規】

⑥ 福岡空港・福岡市との連携強化について

福岡空港の民営化に際して北九州空港との連携が求められているが、具体案が見えていない。また、北九州深夜早朝便は高速バスにより福岡市と接続されているが、利用者も少ない状況が続いている。利用促進に向けた広報活動の充実や交通アクセスの改善を要望する。【新規】

⑦ 北九州タワーの運用時間延長について

国際線の増便により北九州タワーから北九州リモートに切り替わる時間帯のトラフィックが増えている。リモートに切り替わった場合、管制圏内には原則一機しか入れないため速度調整やホールドが増え到着の遅れに繋がっている。北九州タワーの運用時間延長を要望する。【新規】

2. 従業員が働きやすい空港づくり

① 貨物ハンドリング設備の改善について

貨物機が0番スポットを使用する場合、GSE待機区域として1番スポットが使用不可となっている。北側に90番スポットが新設されたが、B747の運用には駐機スペースやGSE待機スペースが不足しているため、活用されておらず、0番スポットを使用したハンドリングが続いている。また、貨物上屋が狭く、トラックが待機・搭降載・転回等を行うスペースが限られる。90番スポットをB747の運用が可能のように拡大するとともに、貨物上屋の拡張を要望する。【新規】

② バードストライク対策の強化

北九州空港は海上空港であり、鳥の飛来が多く、パトロールは行われているものの衝突件数が多い。空砲による対策に加えて、鳥を空港外に誘導する技術の導入などを要望する。【新規】

③ IDLE出力を超えるRUN UPについて

現在、IDLE出力を超えるRUN UPについては、最終便到着後から始発便出発前までに滑走路上で実施することになっている。急遽ダイバートが発生した場合など、対応に苦慮することが想定される。滑走路以外エリアにてRUN UPができる施設の設置、または既存の施設を活用した運用方法の検討を要望する。【新規】

1. 航空政策について

① 沖縄振興の恒久化・利用者負担の軽減

沖縄は日本で唯一、陸路で結ばれていない島嶼県であり、域内・外の輸送手段として航空輸送の位置づけは極めて重要である。特に航空輸送の充実を図る上では航空運賃の低廉化は最重要課題であり、政府は沖縄振興策の一環として那覇-本土路線の航空機燃料税の軽減措置や空港使用料（着陸料・航行援助施設利用料）の軽減措置を実施し、航空運賃の引き下げを図っている。しかし、沖縄振興策は時限立法であることから、これらを恒久的な制度として実施するとともに、下記の措置を実施し運賃の引き下げを通して利用者の負担を軽減していただきたい。

- ・沖縄県内一本土路線の航空機燃料税を廃止とすること。
- ・空港使用料の軽減措置について、恒久的に実施すること。

② 若狭バースへの大型航行船寄港対応について

若狭バースへの大型クルーズ船寄港増加により那覇空港へ着陸する航空機が上空待機となり到着遅延につながるケースが増加している。今後の第二滑走路増設含む空港整備計画において、このようなケースが発生しないよう対応を要請する。また、現在検討している第二バースへの寄港にあたっては同様のケースが発生しないような運用を検証いただきたい。

③ 那覇空港国際航空物流拠点計画について

那覇空港における航空貨物取扱量は、国際航空物流拠点計画により年々増加傾向にある。第二滑走路増設も含めた空港整備計画で、さらなる拡大も十分に考慮し進めていただきたい。

2. 管制業務について

① 那覇空港滑走路閉鎖時間帯の対応について

那覇空港における23時から25時半までの滑走路点検に伴う閉鎖について、利便性向上の観点から、時間帯を固定するのではなく、より柔軟な運用について検討いただきたい。

3. 航空安全・保安について

① 訪日誘客支援空港としての取り組みについて

「訪日誘客支援空港」として那覇（継続支援型）、下地島（育成支援型）が沖縄県内空港で認定されているが、それぞれの空港での取り組みを着実に推進いただきたい。【新規】

② 那覇空港国際線ターミナルの狭隘化対応について

訪沖外国人旅行者の増加に対応し、CIQおよびX-RAY検査、

手荷物受け渡し場所等、必要な物的・人的対応について検討いただきたい。

③ 車両通行帯・誘導灯などの補修対応について

那覇空港ランプエリアの車両通行帯、ならびに夜間の誘導灯が古く非常に見えづらいことから作業の安全性向上に向けた対応を検討いただきたい。【内容変更】

④ 宮古空港の保安体制について

宮古空港では到着ロビーの旅客逆流防止のための警備員が配備されず、航空会社地上スタッフがその監視に当たっている。逆流防止対策について検討いただきたい。【新規】

⑤ 災害時の体制周知について

大災害に備えた対策として、県内各空港における災害時の体制はより一層の明確化を図り、国・自治体・関連各社が連携し、働くものすべてに周知を図る対策をとることを要請する。

⑥ 台風等空港被害の際の復旧について

大型台風等による空港被害の際にはより迅速に復旧できるよう対応を講じることを要請する。【新規】

4. 空港施設について

① 那覇空港従業員専用駐車場の増設について

那覇空港従業員専用駐車場は慢性的に契約待ちの状況となっている。今後内際連結ターミナルの増設など、空港で働くものがさらに増えることが予想されることから、新たな従業員専用駐車場設置について検討いただきたい。

② 那覇空港従業員駐車場の警備強化について

那覇空港従業員駐車場周辺が夜間暗く、保安上問題がある。街灯を増設するなどの対策を検討いただきたい。また女性従業員が比較的多いことから、場内においても夜勤退社時間帯を中心に警備員を配備する等、警備強化を検討いただきたい。【新規】

③ 国内線到着口の横断歩道への信号設置について

国内線到着口はレンタカー送迎車やタクシー等、車の往来が激しく、横断者の交通安全のため信号の設置を検討いただきたい。【新規】

④ PBBの空調設置対応について

那覇空港のPBBに空調設備がないため、高温多湿の沖縄において利用客の快適性向上に向け、全PBBに空調設置を要請する。【内容変更】

⑤ 那覇空港旅客ターミナルの移設について

2020年3月供用開始を予定している第2滑走路の増設効果最大化のため、旅客ターミナルを第1滑走路と第2滑走路の間への移設を検討いただきたい。【新規】

⑥ 「FAST TRAVEL」の推進について

国が掲げる「FAST TRAVEL」の推進において、那覇空港が選定されているが、その実施に向けては利用客と働くもの両方の視点をもって取り組んでいただきたい。【新規】

⑦ 空港内の案内アイコン統一化について

空港内の案内アイコンが統一されておらず、非英語圏の訪日旅客の案内に不便が生じている。利便性向上のため、全空港の案内アイコンの統一を要請する。【新規】

⑧ 那覇空港場周道路の段差について

北フィンガー周辺および機材整備工場付近の場周道路に大きな段差があり安全上問題があるため、定期的な補修作業を行うことを要請する。

⑨ 西側整備地区の道路側溝について

9番ゲートから入構し西側整備地区までの動線において、道路側溝に蓋がなく安全上問題があると考え。蓋を設置するなどの対応をお願いしたい。

5. 離島空港について

① 新石垣・宮古空港従業員駐車場の契約について

新石垣空港・宮古空港において従業員駐車場契約は月極にて契約しているものの、イレギュラー等で22時を回った際に別途料金が発生する。安心して働けるよう、月一律の料金にしていきたい。また22時以降は出庫が出来ないことから、出庫できよう対応をお願いしたい。【新規】

② 新石垣・宮古空港へのコンビニ設置について

新石垣空港・宮古空港において利便性の観点からコンビニエンスストアの設置を検討いただきたい。

③ ターミナル狭隘^{きょうあい}への対応について

新石垣空港・宮古空港において本土便出発が重複する時間帯に保安検査場はじめ、出発ロビーが非常に混雑し、利用客の利便性が著しく低下している。施設の拡張含め、利用客がスムーズに利用できるよう改善を要請する。【新規】

④ 新石垣空港における施設改修対応について

新石垣空港施設不具合の際の対処についてより早急な改修ができるよう要請する。【新規】

⑤ 新石垣空港貨物地区ゲートオープン時間延長について

新石垣空港の貨物地区のゲートが22時で閉鎖となることから、イレギュラー対応などで勤務時間延長となった場合、駐車場までの動線が非常に遠くなる。ゲートオープン時間の延長について検討いただきたい。【新規】

⑥ 宮古空港1番スポットの拡張について

宮古空港の1番スポットを安全性・利便性の観点から北側への拡張を要請する。【新規】

⑦ 宮古空港下りエスカレーターの設置について

宮古空港において利用客の利便性向上のため下りエスカレーターの設置をお願いしたい。【新規】

⑧ 下地島空港および周辺用地の利活用について

沖縄県が進めている「下地島空港および周辺用地の利活用実施計画」については、地域の発展と雇用の継続・維持・拡大を前提として引き続き積極的に進めていただきたい。

⑨ 南大東空港の施設見直しについて

南大東空港出発ロビー内にトイレを設置いただきたい。また椅子が施設内で不足しており、利用客利便性向上のため設置数増加を検討いただきたい。また、台風襲来時、GSEは車両にタイダウンしているが、危険であるためランプ内GSE置き場にタイダウンリングの設置を要請する。【新規】

6. 観光施策・交通アクセスについて

① 交通インフラのさらなる整備について

鉄軌道計画の推進や、ゆいレール延伸計画、泊港の混雑緩和など交通インフラの整備は沖縄観光の発展に重要な役割を担うことから、その計画をより一層推進していくことを要請する。

② 空港北口交差点の右折矢印信号表示について

空港から、うみそらトンネル方面に向う北口交差点は右折矢印信号がなく、渋滞の発生および無理な右折による危険な状況がみられるため右折矢印の追加等の対策を検討いただきたい。

③ ゆいレールへの全国共通IC導入について

ゆいレールについて県外からの観光客利便性向上の観点から、県外にて利用されている全国共通交通系ICとの連携について検討いただきたい。

④ 観光地における環境と景観の保全について

沖縄の観光は、環境資源に大きく依存していることから、観光地における環境と景観の保全についてより対策を強化することを要請する。

⑤ レンタカー利用者送迎バス乗り場について

那覇空港国内線ターミナル1階レンタカー利用者送迎バス乗り場は日常的に混雑しており、送迎車が通行帯で停車するなど安全上問題がある。またレンタカー送迎車乗り場の北側にある一般乗降場所は、スペースが小さく日常的に混雑しており、停車できないケースも発生している。レンタカー利用者送迎車乗り場の他の場所への移動など対応・検討いただきたい。

⑥ 空港アクセス交通機関の運行体制について

空港利用者拡大への対応として、公共交通機関による空港アクセスについてはその本数・路線等運行体制について検証した上で、さらなる利便性向上を図ることを要請する。